

《大会プログラム》

.....◆ 3月20日(日) ◆.....

10:00～12:00

●理事会 (東2号館2階 2203番教室)

●大会実行委員会・一橋大学大学院社会学研究科合同企画① (東2号館2階 2201番教室)

テーマセッション「オリンピックと社会正義」

登壇者：鈴木直文 (一橋大学)

中村英仁 (一橋大学)

Grace Gonzalez (同志社大学)

東原文郎 (札幌大学)

町村敬志 (一橋大学)

パネルディスカッション (司会：鈴木直文)

12:00～

●受付 (東2号館1階 エントランスホール)

13:00～14:30

●学生フォーラム (東2号館2階 2201番教室)

『気づかせる』指導とはどういうものかーコーチングの社会学に向けてー

登壇者：平尾剛 (神戸親和女子大学)

迫俊道 (大阪商業大学)

コメンテーター：倉島哲 (関西大学)

司会：小丸超 (龍谷大学)

14:30～

●一般発表

【第1室】(東2号館2階 2201番教室) 14:30～16:00

☆〈日本スポーツの道程〉 座長：西山哲郎 (関西大学)

1. 白石義郎 (久留米大学) →発表キャンセル

2. 熊澤拓也 (一橋大学大学院) スポーツの近代化・グローバル化と日本化の接続

3. 志々田文明 (早稲田大学) 柔道と剣道の技術的接点：「崩し」と「刀法」の関係に見る嘉納治五郎の宿題

【第2室】（東2号館2階 2202番教室） 14:30～16:00

☆〈スポーツ参加者の多様なニーズ〉 座長：伊藤恵造（秋田大学）

1. 常行泰子（高知大学）・稲葉慎太郎（神戸大学大学院） インターネット利用者を対象とした運動初心者のニーズに関する研究
2. 清宮孝文・依田充代・門屋貴久（日本体育大学） 体育系大学生の援助要請行動に関する研究
3. 清水友輔（東京学芸大学大学院） 「得意でない」「知らない」種目を選択するということの社会的意味について

【第3室】（東2号館3階 2301番教室） 14:30～17:00

☆〈運動部活動〉 座長：中澤篤史（一橋大学）

1. 魚住智広（北海道大学大学院） 運動部活動で形成される生徒文化
2. 栗山靖弘（筑波大学大学院） 「実績関係」を介したスポーツ推薦入試に関する研究
—強豪校野球部員の大学進学における進路形成を手がかりとして—

☆〈保健体育科教員・スポーツ指導〉 座長：山崎貴史（北海道大学）

1. 門屋貴久・後藤彰・依田充代・清宮孝文（日本体育大学） 中学校保健体育科教員の役割に関する研究
—職務上の役割期待に着目して—
2. 栗田顯（関西大学大学院）・津吉哲士（関西大学大学院） スポーツ指導論の社会的規定要因
—著名スポーツ指導者における著作のディスコース分析を通して—
3. 小谷寛二（川塾「馬関」） なぜ、体罰はやまないのか—判例考察を中心にして

17:00～18:00

- 学会総会（東2号館2階 2201番教室）

18:00～

- 懇親会（マーキュリータワー7階 マーキュリーホール）

.....◆ 3月21日(月) ◆.....

9:00～

●一般発表

【第1室】（東2号館2階 2201番教室） 9:00～12:00

☆〈スポーツとナショナリズム〉 座長：高尾将幸（東京理科大学）

1. 松島剛史（立命館大学） ラグビー日本代表にみるネイションの二重性に関する考察
ースポーツ・ナショナリズムの理解に向けて
2. 有元健（国際基督教大学） 2002年W杯の遺産？ーあるローカルクラブのファンにおけるナシ
ョナリズムの構築について

☆〈オリンピックの効果とレガシー〉 座長：浜田雄介（九州共立大学）

1. 相原正道（大阪経済大学） 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の経済効果
ー成長戦略と地方創生の視点からー
2. 海老島均（成城大学） イギリスの自転車文化に関する研究ーオリンピックレガシー，
クリティカル・マス，サブカルチャーが交錯する空間

☆〈スポーツと公共性〉 座長：村田周祐（東北福祉大学）

1. 奥田睦子（金沢大学） ドイツのリハビリテーションスポーツシステムの公共性
2. 嘉門良亮（筑波大学大学院）・松村和則（筑波大学） 地域共同性が生み出す「新しい」スポーツ
とその課題ー福島県北塩原村W集落を事例にー

【第2室】（東2号館2階 2202番教室） 9:00～12:00

☆〈スポーツと地域研究〉 座長：後藤貴浩（国士舘大学）

1. 岩瀬裕子（首都大学東京大学院） スペイン・カタルーニャ州「人間の塔」における伝承
～「真正性の水準」を手がかりに～
2. 千葉直樹（北翔大学） ブルキナファソへの野球の普及活動と「プロチャレンジ・プロジェクト」
3. 張寿山（明治大学大学院） スポーツ組織における主体としての観客・サポーター：
Supporter owned football club を理念とする FC United of
Manchester の運営実態を通じた考察

☆〈スポーツ・身体・視線〉 座長：渡正（順天堂大学）

1. 海老田大五朗（新潟青陵大学） 柔道家たちの予期に関するエスノメソドロジー的研究
2. 岡田光弘（国際基督教大学） スポーツのワーク研究
ーオート・エスノグラフィーから観察社会学へー
3. 山内朋也（東京学芸大学大学院） ミードにおける「I」の概念と「身体」

【第3室】（東2号館3階 2301番教室） 9:00～12:00

☆〈コミュニケーション・アイデンティティ〉 座長：迫俊道（大阪商業大学）

1. 佐藤聖（東京学芸大学大学院） 若者のスポーツ観戦場面におけるコミュニケーション
2. 高峰修（明治大学） スポーツ領域におけるトランスジェンダー・アスリートの国内新聞報道分析
3. 高水あゆみ（東京学芸大学大学院） スポーツに現れた「仮装」とは何か

☆〈女性スポーツの今〉 座長：水野英莉（岐阜医療科学大学）

1. 申恩真（北海道大学大学院） 同質と差異が共存する女子サッカー空間に関する社会学的研究
2. 稲葉佳奈子（成蹊大学）・飯田義明（専修大学） 日本の女子サッカー選手のキャリア形成プロセスに関する研究
3. 八木久仁子（関西大学） 日本における女子野球の破断的歴史に関する研究

12:00～13:00

●昼食

●国際交流委員会ランチョンミーティング（東2号館2階 2202番教室） 12:10～12:50

「スポーツ社会学の研究と国際学会・国際誌での研究報告について

みんなでワイワイガヤガヤと情報・意見交換しよう」の会

プレゼンター	「国際学会漂流記」	海老島均	（成城大学）
	「英語論文作成事始め」	金子史弥	（筑波大学）
司会	国際交流委員会	松田恵示	（東京学芸大学）
		清水諭	（筑波大学）
		後藤貴浩	（国士舘大学）

13:00～14:30

●大会実行委員会・一橋大学大学院社会学研究科合同企画②（東2号館3階 2301番教室）

特別講演：アロン・ミラー（Aaron L. Miller, PhD）

「アメリカの大学スポーツ：教育を優先する立場から」

（"College sports in America: Thoughts from an educational perspective"）

コーディネーター：中澤篤史（一橋大学）

14:30～17:30

●研究委員会シンポジウム（東2号館2階 2201番教室）

「スポーツと視覚」

登壇者：ラリーサ・シンドラー（マインツ大学）

鷺谷洋輔（トロント大学）

磯直樹（大阪大学）

コメンテーター：リー・トンプソン（早稲田大学）

通訳：倉島哲（関西学院大学）

司会：石岡丈昇（北海道大学）